



2021年3月期 第2四半期決算短信(I F R S) (連結)

2020年11月6日

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社
コード番号 2897 URL <https://nissin.com/jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 安藤 宏基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・CFO 兼 常務執行役員 (氏名) 横山 之雄

TEL 03-3205-5111

四半期報告書提出予定日 2020年11月6日

配当支払開始予定日

2020年11月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日 ~ 2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(% 表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	241,131	8.9	31,840	61.5	32,148	57.4	21,973	63.1
2020年3月期第2四半期	221,361	3.1	19,721	12.5	20,427	12.7	13,469	11.1

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	210.94	209.74
2020年3月期第2四半期	129.31	128.62

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	608,818	387,716	360,801	59.3
2020年3月期	576,621	354,063	327,994	56.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00
2021年3月期	—	55.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年 3月期の連結業績予想(2020年 4月 1日 ~ 2021年 3月31日)

(% 表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	486,000	3.7	43,500	5.4	30,500	4.0	292.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	105,700,000 株	2020年3月期	105,700,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,527,911 株	2020年3月期	1,529,320 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	104,171,436 株	2020年3月期2Q	104,161,813 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(報告企業)	12
(作成の基礎)	12
(重要な会計方針)	12
(セグメント情報)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上収益では前年同期比8.9%増の2,411億31百万円となりました。利益面では、営業利益は前年同期比61.5%増の318億40百万円、税引前四半期利益は前年同期比57.4%増の321億48百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比63.1%増の219億73百万円となりました。

当社グループは2017年3月期からの5ヵ年を対象とする「中期経営計画2020」に基づき、「本業で稼ぐ力」と「資本市場での価値」の向上を実現すべく、戦略テーマである①グローバルブランディングの促進、②海外重点地域への集中、③国内収益基盤の盤石化、④第2の収益の柱の構築、⑤グローバル経営人材の育成・強化に取り組んでおります。

<連結業績>

(単位：百万円)

区分	2020年3月期	2021年3月期	対前年同期比	
	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2020年4月1日 至 2020年9月30日	金額	%
売上収益	221,361	241,131	19,770	8.9
営業利益	19,721	31,840	12,119	61.5
税引前四半期利益	20,427	32,148	11,720	57.4
親会社の所有者に帰属 する四半期利益	13,469	21,973	8,504	63.1

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりです。

①日清食品

日清食品(株)の販売状況は、カップめん類、袋めん類が売上を伸ばし、前年同期比で増収となりました。カップめん類では、2020年8月に発売した“特製旨辛ラー油”で仕上げる辛くてうまい！濃厚豚骨！が特長の「カップヌードル 旨辛豚骨」の売上が好調だった事に加え、「あっさりおいしいカップヌードル」シリーズ、「あっさりおだしがおいしいどん兵衛」シリーズも売上に貢献しました。袋めん類では、「チキンラーメン」、「出前一丁」、「日清焼そば」、「日清ラ王」シリーズが売上を伸ばしました。また、2020年8月に発売した、麺を砕いてサラダとあえて食べる新商品「チキンラーメンキャベツサラダ」や袋めんの新スタンダードを目指して2020年9月に発売した、若年ファミリー向けの3食入り袋めん「日清これ絶対うまいやつ！」シリーズも売上に寄与しました。カップめん類、袋めん類ともに平時の需要に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けた外出自粛による商品需要の増加も売上に貢献しました。利益面では、関西工場稼働に伴う減価償却費の増加、物流費の上昇等がありましたが、増収効果により増益となりました。

この結果、報告セグメントにおける日清食品の売上収益は、前年同期比4.9%増の970億33百万円となり、セグメント利益は、前年同期比41.0%増の165億47百万円となりました。

②明星食品

明星食品の販売状況は、袋めん類で主要ブランドの「明星 チャルメラ」シリーズ、「明星 中華三昧」シリーズが好調で、オープン価格商品の「明星 評判屋」も引き続き堅調に推移し、前年同期比で増収となりました。カップめん類においては「明星 一平ちゃん夜店の焼そば」シリーズが堅調で、「明星 旨だし屋」シリーズも好調で、ほぼ前年並みの実績となりました。

利益面では、販売数量増加による増収効果と広告費、促進費等の投入時期を見直したことによる費用の減少等により、前年同期比で増益となりました。

この結果、報告セグメントにおける明星食品の売上収益は、前年同期比6.0%増の181億22百万円となり、セグメント利益は、前年同期比77.3%増の23億62百万円となりました。

③低温事業

日清食品チルド粥の販売状況は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う巣ごもり需要の拡大により主力ブランド「行列のできる店のラーメン」、「つけ麺の達人」、「日清のラーメン屋さん」、「まぜ麺の匠」、「太麺焼そば」の各シリーズを中心に売上が伸長し、前年同期比で増収増益となりました。

日清食品冷凍粥の販売状況は、主力商品である「冷凍 日清もちっと生パスタ」、「冷凍 日清スパ王プレミアム」、「冷凍 日清中華」、「冷凍 日清具多」の各シリーズが順調に売上を伸ばし、また、新型コロナウイルスの影響による巣ごもり需要もあり、前年同期比で増収となりました。利益面では、増収効果や増産に伴う生産性の向上により前年同期比で増益となりました。

この結果、報告セグメントにおける低温事業の売上収益は、前年同期比10.4%増の308億27百万円となり、セグメント利益は、前年同期比140.7%増の24億56百万円となりました。

④米州地域

米州地域においては、既存商品の収益力の向上に加え、新たな需要の創造に向けた付加価値商品の提案強化に取り組んでおります。

売上につきましては、ブラジルでは主力商品の「Nissin Lamen」が引き続き好調に推移したことに加え「CUP NOODLES」の売上也伸長しました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大による需要の増加も売上に貢献しました。米国においても普及価格帯商品の売上が堅調で、高価格帯商品も新製品が好調に推移し大幅に売上が伸長したのに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大による商品需要の増加も売上に寄与し、セグメント全体で増収となりました。利益につきましては、高価格帯商品の販売増等の増収効果により増益となりました。

この結果、報告セグメントにおける米州地域の売上収益は、前年同期比12.5%増の355億16百万円となり、セグメント利益は、前年同期比41.6%増の34億2百万円となりました。

⑤中国地域

中国地域においては、中国大陸での高付加価値商品市場が拡大しており、販売エリア拡大と中国版カップヌードル「合味道」のブランド強化に取り組んでおります。また、新型コロナウイルス感染症により、自宅での喫食機会が増加し、需要が更に拡大しました。こうした状況の下、売上収益につきましては中国大陸及び香港における「合味道」や「出前一丁」のブランドを中心とした伸びが寄与し、前年同期比で増収となりました。利益につきましては中国大陸及び香港における販売数量の増加及びそれに伴うコスト低減により、前年同期比で増益となりました。

この結果、報告セグメントにおける中国地域の売上収益は、前年同期比15.8%増の242億81百万円となり、セグメント利益は、前年同期比34.7%増の30億87百万円となりました。

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントである国内の菓子事業、飲料事業等及び欧州地域、アジア地域を含んだ「その他」の売上収益は前年同期比12.8%増の353億50百万円となり、セグメント利益は、前年同期比86.4%増の70億17百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の当社グループの資産合計は、前連結会計年度末に比べ321億96百万円増加し、6,088億18百万円となりました。当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

資産の増加につきましては、主に非流動資産のその他の金融資産が241億8百万円、棚卸資産が69億88百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ14億56百万円減少し、2,211億2百万円となりました。これは主に繰延税金負債が36億84百万円増加した一方、その他の流動負債が34億17百万円、営業債務及びその他の債務が18億25百万円減少したことによるものであります。

資本は、前連結会計年度末に比べ336億53百万円増加し、3,877億16百万円となりました。これは主にその他の資本の構成要素が165億32百万円、利益剰余金が162億70百万円増加したことによるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の56.9%から59.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年5月11日に公表いたしました連結業績予想から変更ありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2020年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	60,163	59,173
営業債権及びその他の債権	77,932	74,533
棚卸資産	32,454	39,442
未収法人所得税	2,701	568
その他の金融資産	10,273	14,732
その他の流動資産	4,258	5,973
流動資産合計	187,784	194,423
非流動資産		
有形固定資産	240,063	243,008
のれん及び無形資産	3,806	4,597
投資不動産	7,108	7,085
持分法で会計処理されている投資	47,436	45,539
その他の金融資産	77,209	101,318
繰延税金資産	12,844	12,365
その他の非流動資産	368	481
非流動資産合計	388,837	414,394
資産合計	576,621	608,818

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2020年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	104,815	102,989
借入金	6,631	5,944
引当金	337	254
未払法人所得税	6,294	8,207
その他の金融負債	3,418	4,051
その他の流動負債	20,183	16,765
流動負債合計	141,681	138,214
非流動負債		
借入金	41,630	40,726
その他の金融負債	18,350	17,448
退職給付に係る負債	5,828	6,037
引当金	207	226
繰延税金負債	12,393	16,077
その他の非流動負債	2,467	2,371
非流動負債合計	80,877	82,887
負債合計	222,558	221,102
資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	50,639	50,638
自己株式	△6,660	△6,655
その他の資本の構成要素	12,275	28,808
利益剰余金	246,616	262,887
親会社の所有者に帰属する持分合計	327,994	360,801
非支配持分	26,068	26,914
資本合計	354,063	387,716
負債及び資本合計	576,621	608,818

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上収益	221,361	241,131
売上原価	142,783	152,135
売上総利益	78,578	88,996
販売費及び一般管理費	61,302	60,415
持分法による投資利益	2,077	2,999
その他の収益	949	1,091
その他の費用	581	831
営業利益	19,721	31,840
金融収益	1,219	1,025
金融費用	513	718
税引前四半期利益	20,427	32,148
法人所得税費用	6,046	8,745
四半期利益	14,380	23,402
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	13,469	21,973
非支配持分	911	1,428
四半期利益	14,380	23,402
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	129.31	210.94
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	128.62	209.74

(第2四半期連結会計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
売上収益	115,466	120,570
売上原価	74,067	76,816
売上総利益	41,399	43,753
販売費及び一般管理費	31,160	30,794
持分法による投資利益	1,073	1,549
その他の収益	261	523
その他の費用	479	642
営業利益	11,094	14,388
金融収益	212	226
金融費用	171	446
税引前四半期利益	11,135	14,168
法人所得税費用	2,914	3,584
四半期利益	8,221	10,584
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	7,669	9,878
非支配持分	551	705
四半期利益	8,221	10,584
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	73.63	94.83
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	73.22	94.28

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益	14,380	23,402
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する資本性金融資産	△7,266	20,210
持分法適用会社におけるその他の包括利益 に対する持分	86	44
純損益に振り替えられることのない項目合計	△7,180	20,255
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する負債性金融資産	1	10
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△26	△20
在外営業活動体の換算差額	△4,939	△1,730
持分法適用会社におけるその他の包括利益 に対する持分	728	△2,439
純損益に振り替えられる可能性のある項目 合計	△4,235	△4,179
税引後その他の包括利益	△11,416	16,075
四半期包括利益	2,964	39,478
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,955	38,127
非支配持分	9	1,350
四半期包括利益	2,964	39,478

(第2四半期連結会計期間)

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益	8,221	10,584
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する資本性金融資産	△182	5,860
持分法適用会社におけるその他の包括利益 に対する持分	50	57
純損益に振り替えられることのない項目合計	△132	5,917
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する負債性金融資産	△0	29
キャッシュ・フロー・ヘッジ	17	△31
在外営業活動体の換算差額	△2,365	△875
持分法適用会社におけるその他の包括利益 に対する持分	3	1,886
純損益に振り替えられる可能性のある項目 合計	△2,346	1,010
税引後その他の包括利益	△2,478	6,927
四半期包括利益	5,743	17,511
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	5,445	16,858
非支配持分	297	653
四半期包括利益	5,743	17,511

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2019年4月1日 残高	25,122	50,614	△6,718	2,110	△4,656	3	31,749
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△4,050	△14	△7,263
四半期包括利益合計	—	—	—	—	△4,050	△14	△7,263
自己株式の取得	—	—	△3	—	—	—	—
自己株式の処分	—	27	46	△73	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	—	—	270	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	37
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	27	42	196	—	—	37
2019年9月30日 残高	25,122	50,641	△6,675	2,307	△8,707	△11	24,522

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素				非支配持分	合計
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計	利益剰余金	合計		
2019年4月1日 残高	28	29,235	228,526	326,781	25,764	352,545
四半期利益	—	—	13,469	13,469	911	14,380
その他の包括利益	814	△10,514	—	△10,514	△901	△11,416
四半期包括利益合計	814	△10,514	13,469	2,955	9	2,964
自己株式の取得	—	—	—	△3	—	△3
自己株式の処分	—	△73	—	0	—	0
配当金	—	—	△5,728	△5,728	△613	△6,342
株式に基づく報酬取引	—	270	—	270	—	270
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	313	313
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△7	29	△29	—	—	—
その他の増減	—	—	△0	△0	△147	△148
所有者との取引額合計	△7	226	△5,759	△5,462	△448	△5,910
2019年9月30日 残高	835	18,947	236,237	324,274	25,325	349,599

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2020年4月1日 残高	25,122	50,639	△6,660	2,292	△12,057	17	19,879
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△1,629	△20	20,197
四半期包括利益合計	—	—	—	—	△1,629	△20	20,197
自己株式の取得	—	—	△2	—	—	—	—
自己株式の処分	—	0	7	△7	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	—	—	362	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	13
その他の増減	—	△1	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△1	5	354	—	—	13
2020年9月30日 残高	25,122	50,638	△6,655	2,647	△13,686	△2	40,090

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			非支配持分	合計	
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計	利益剰余金	合計		
2020年4月1日 残高	2,143	12,275	246,616	327,994	26,068	354,063
四半期利益	—	—	21,973	21,973	1,428	23,402
その他の包括利益	△2,394	16,153	—	16,153	△77	16,075
四半期包括利益合計	△2,394	16,153	21,973	38,127	1,350	39,478
自己株式の取得	—	—	—	△2	—	△2
自己株式の処分	—	△7	—	0	—	0
配当金	—	—	△5,729	△5,729	△699	△6,429
株式に基づく報酬取引	—	362	—	362	—	362
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	160	160
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	11	24	△24	—	—	—
その他の増減	—	—	50	48	34	83
所有者との取引額合計	11	378	△5,702	△5,320	△504	△5,825
2020年9月30日 残高	△239	28,808	262,887	360,801	26,914	387,716

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(報告企業)

日清食品ホールディングス株式会社(以下、当社)は日本に所在する株式会社です。当社の登記されている本社及び主要な事業所の住所は、当社のウェブサイト(<https://www.nissin.com/jp/>)で開示しております。当社の要約四半期連結財務諸表は、当社及び子会社(以下、当社グループ)、並びに当社の関連会社に対する持分により構成されております。

当社グループの事業内容及び主要な活動は、注記「セグメント情報」に記載しております。

(作成の基礎)

(1) IFRSに準拠している旨に関する事項

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」

(平成19年内閣府令第64号)第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たすことから、同第93条の規定により、IAS第34号に準拠して作成しております。

なお、本要約四半期連結財務諸表は、2020年11月6日に取締役会によって承認されております。

(2) 測定の基礎

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、公正価値で測定されている金融商品等を除き、取得原価を基礎として作成しております。

(3) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、単位を百万円としております。また、百万円未満の端数は切捨てて表示しております。

(重要な会計方針)

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度において適用した会計方針と同一です。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、その経営成績を定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、持株会社制を採り、国内7事業会社、海外4地域を戦略プラットフォームとして即席めん事業を中心に展開し、「日清食品」「明星食品」「低温事業」「米州地域」「中国地域」を報告セグメントとしております。「日清食品」「明星食品」「米州地域」「中国地域」は主として即席袋めん及びカップめんを製造販売し、「低温事業」はチルド製品及び冷凍製品を製造販売しております。

(2) セグメント収益及び業績

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、(重要な会計方針)における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益										
外部顧客への売上収益	92,465	17,097	27,921	31,569	20,967	190,021	31,339	221,361	—	221,361
セグメント間の内部売上収 益又は振替高	628	3,391	204	2	495	4,723	15,247	19,970	△19,970	—
計	93,094	20,489	28,126	31,571	21,463	194,744	46,587	241,331	△19,970	221,361
セグメント利益 (営業利益)	11,736	1,332	1,020	2,402	2,291	18,782	3,765	22,548	△2,826	19,721
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,219
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	513
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20,427
その他の項目										
減価償却費	5,576	939	655	501	943	8,616	3,457	12,074	24	12,098
減損損失(非金融資産)	—	—	—	—	—	—	355	355	—	355
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	2,077	2,077	—	2,077
資本的支出	13,510	626	857	1,076	1,233	17,304	3,406	20,711	—	20,711

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△2,826百万円には、セグメント間取引消去等△131百万円、グループ関連費用△2,694百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益										
外部顧客への売上収益	97,033	18,122	30,827	35,516	24,281	205,781	35,350	241,131	—	241,131
セグメント間の内部売上収 益又は振替高	808	2,464	224	3	572	4,073	14,913	18,986	△18,986	—
計	97,841	20,587	31,051	35,519	24,853	209,854	50,263	260,118	△18,986	241,131
セグメント利益 (営業利益)	16,547	2,362	2,456	3,402	3,087	27,855	7,017	34,872	△3,031	31,840
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,025
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	718
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32,148
その他の項目										
減価償却費	6,263	951	668	494	1,002	9,381	2,993	12,375	19	12,394
減損損失(非金融資産)	103	—	—	—	—	103	—	103	—	103
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	2,999	2,999	—	2,999
資本的支出	7,763	2,479	690	1,545	1,565	14,044	2,850	16,895	△5	16,889

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△3,031百万円には、セグメント間取引消去等△108百万円、グループ関連費用△2,922百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

前第2四半期連結会計期間（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益										
外部顧客への売上収益	49,050	8,705	14,353	16,440	11,332	99,882	15,584	115,466	—	115,466
セグメント間の内部売上収 益又は振替高	362	1,799	104	0	283	2,551	7,716	10,267	△10,267	—
計	49,412	10,505	14,457	16,440	11,616	102,433	23,301	125,734	△10,267	115,466
セグメント利益 (営業利益)	7,068	719	297	1,006	1,451	10,543	1,917	12,460	△1,365	11,094
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	212
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	171
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11,135
その他の項目										
減価償却費	2,855	475	333	254	465	4,384	1,704	6,089	11	6,100
減損損失（非金融資産）	—	—	—	—	—	—	355	355	—	355
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	1,073	1,073	—	1,073
資本的支出	7,355	255	400	669	353	9,034	1,646	10,681	—	10,681

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,365百万円には、セグメント間取引消去等△18百万円、グループ関連費用△1,347百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結会計期間（自 2020年7月1日 至 2020年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益										
外部顧客への売上収益	48,969	8,463	15,123	17,772	12,769	103,098	17,472	120,570	—	120,570
セグメント間の内部売上収 益又は振替高	436	1,376	111	1	266	2,191	7,365	9,557	△9,557	—
計	49,406	9,840	15,234	17,774	13,035	105,290	24,837	130,127	△9,557	120,570
セグメント利益 (営業利益)	7,816	752	890	1,491	1,479	12,430	3,490	15,921	△1,532	14,388
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	226
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	446
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14,168
その他の項目										
減価償却費	3,157	492	335	247	505	4,737	1,503	6,240	9	6,250
減損損失（非金融資産）	103	—	—	—	—	103	—	103	—	103
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	1,549	1,549	—	1,549
資本的支出	4,482	1,379	490	402	947	7,702	1,408	9,111	△5	9,105

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,532百万円には、セグメント間取引消去等△70百万円、グループ関連費用△1,461百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。